

令和4年5月30日市長記者会見 会議録

- < 開催時間 > 14:00～
- < 会場 > 庁議室（市役所本館3階）
- < 会見案件 > ・6月補正予算案の概要について
・部局マネジメント方針について
・新幹線プロモーションのポスター・動画の制作について
- < 出席者 > 市長、副市長、総務部長、財政部長、財政課長、総合政策課長、新幹線プロモーション課長、福祉政策課長、保健企画課長、商工振興課長、おもてなし観光推進課長、公園課長、学校教育課長、保健給食課長

< 発表内容 >

【福井市長】

本日は、6月定例会に提出を予定しております補正予算案の概要、部局マネジメントの方針、並びに新幹線プロモーションのポスター・動画の制作の3点についてご説明させていただきます。

まず、今回の補正予算案についてですが、「感染拡大防止の強化」や、「安全・安心な市民生活の確保」、「原油価格・物価高騰への対応」などの「新型コロナウイルス感染症対応等に関する事業」をはじめ、各種施策を推進するために予算措置が必要になった事業について計上するものです。

補正予算案の規模は、「6月補正予算案の概要」の1ページに記載のとおり、一般会計で、11億7,518万4千円
介護保険特別会計で、350万円
追加いたします。

この結果、補正後の予算総額は、一般会計で、1,256億150万2千円
特別会計で、722億9,450万円
全会計では、2,278億5,400万2千円
となります。

それでは引き続き、補正予算案の詳細につきまして、財政部長から説明いたします。

【財政部長】

それでは、お手元の資料「6月補正予算案の概要」により、ご説明を申し上げます。
まず、1ページにつきましては、ただいま市長が申し上げました、会計別の総括表です。

2ページをお開きください。

これは、一般会計の財源について表したものです。

国庫支出金で、10億1,927万8千円
県支出金で、4,497万6千円
繰越金で、1,623万円
市債で、9,470万円
をそれぞれ追加いたします。

3ページをご覧ください。

これは、一般会計の歳出を款別に表しております。

総務費で、8,480万円
民生費で、1億5,984万7千円
衛生費で、3億4,358万1千円
商工費で、2億4,656万7千円
土木費で、1,676万1千円
教育費で、3億2,362万8千円
をそれぞれ追加いたします。

4ページをお開きください。今回計上しました事業の一覧です。

6ページをお開きください。

第一に、「新型コロナウイルス感染症対応等に関する事業」としまして、まず、「感染拡大防止の強化」のため、1番 新型コロナウイルス感染症対策事業、2億9,810万7千円です。新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、積極的疫学調査の体制を強化します。

新規 2番 学校給食感染症対策事業 4,000万円です。食器類を介した新型コロナウイルスの感染リスクの軽減を図るため、老朽化した食器消毒保管庫を更新いたします。また、小中学校の配膳室に空調設備を整備します。

次に、「安全・安心な市民生活の確保」に係る事業です。

3番 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業 1億397万8千円です。新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援給付金の申請期間の延長により、事業費を増額するものです。

4番 生活困窮者自立支援事業・住居確保給付金 1,574万9千円につきましても、住居確保給付金の申請期間の延長により、事業費を増額するものです。

5番 修学旅行キャンセル料補助事業 3,194万円です。修学旅行をやむを得ず中止した場合に生じるキャンセル料等を支援いたします。

8ページをお開きください。次に、「原油価格・物価高騰への対応」に係る事業です。

新規 6番 新型コロナ対策経営安定借換支援事業 1億2,367万2千円です。原油価格・物価高騰によりコロナ禍からの経済活動回復の遅れが懸念されることから、福井市中小企業者等融資制度に「福井市経営安定借換資金・新型コロナ支援枠」を新設し、借換え時の信用保証料を全額補給することで、据置期間の延長や月返済額の変更がしやすい環境を整備します。

新規 7番 生活困窮者光熱費助成事業 2,727万1千円です。原油等の価格高騰を要因とした電気代上昇をふまえ、生活困窮者の経済的負担の軽減を図るために、光熱費を助成するものです。

新規 8番 公衆浴場燃料費助成事業 397万8千円につきましては、市民の公衆衛生の安定と健康の増進を図るため、入浴料金が統制されている公衆浴場に対し燃料費を助成し、原油価格高騰の経営への影響を緩和するものです。

新規 9番 学校給食材料費高騰対策事業 2,000万円です。食料価格が高騰する中においても、給食費の値上げをすることなく、これまでどおり栄養バランスや量を保った学校給食を**提供するため**、給食材料費を増額します。

次に「地域経済への支援」に係る事業です。

新規 10番 福井市宿泊割引「福いいネ!クーポン」事業 1億1,238万円でございます。市内での宿泊を伴う観光需要を喚起し観光消費拡大につなげるため、宿泊料金の割引を実施いたします。また、早期利用特典に福井市産直ECサイト「ふくいさん」を活用することにより、農林漁業者支援につなげます。

10ページをお開きください。新規 11番 福井のがんばる宿泊事業者応援事業 600万円につきましては、県内外からの誘客に向けた宿泊事業者の取組を応援するため、宿泊者へのサービスや施設の魅力向上に要する費用を支援するものです。

新規 12番 福井を満喫!デジタルスタンプラリー 201万5千円です。個人型旅行による周遊観光を促進するため、市内の観光地を巡るデジタルスタンプラリーを実施します。本事業におきましても、ECサイト「ふくいさん」を特典に活用いたします。

13番 夜間観光促進事業 250万円です。ハピテラスにおけるデジタルアートの新たな映像コンテンツ制作を支援し、まちなかのナイトタイムの魅力向上及び夜間のまちなかの滞在時間の拡大を図ります。

次に「新しい生活様式への対応」に係る事業です。

新規 14番 学校DX推進事業 2億3,168万8千円です。教育用サーバ等ネットワークインフラの更新・強化を行うとともに、強化したインフラを活用し、市立の中学校を対象にAI教材を試験的に導入します。

12ページをお開きください。第二に、「各種施策を推進するための取組」です。

まず「若手職員プロジェクト」として、新規 15番 中央公園子どもの遊び場整備事業 1,676万1千円です。中央公園の旧順化公民館跡地に、雨天時や真夏日にも利用できる屋根付きの遊び場整備に着手するものです。本事業は、若手職員や子育て世代の職員を中心としたプロジェクトチームを結成し実施します。

次に「保健衛生」に関する事業として、新規 16番 HPVワクチン任意接種費用助成事業 301万9千円です。HPVワクチンの積極的勧奨の差控えにより、定期接種の機会を逃し、HPVワクチン接種を自費で受けた女性に対して、接種費用の助成を行うものです。

17番 不妊治療支援事業 2,527万7千円です。高額な治療費がかかる特定不妊治療に対し、公的医療保険の適用回数制限後の治療について補助を行います。

第三に、「その他」の事業でございます。

新規 18番 子育て世帯「ふく割」クーポン発行業務 469万9千円です。県が実施する子育て世帯限定のふく割クーポン発行に関して、県との事務委託契約により、対象世帯抽出等の必要な業務を行うものです。

新規 19番 市庁舎本館非常用発電機更新事業 8,480万円、及び新規 20番 健康管理センター非常電源制御設備更新事業 1,320万円につきましては、老朽化した非常用電源設備を更新するものです。

14ページをお開きください。21番 重度障がい者・児 医療費助成システム改修事業 640万円です。令和4年10月施行の後期高齢者医療制度の一部改正に伴うシステム改修を行うものです。

22番 介護保険システム改修事業 350万円につきましては、令和4年10月1日からの臨時の介護報酬改定に対応するため、システムを改修するものです。

以上、令和4年度6月補正予算案の概要につきましてご説明させていただきました。よろしくお願い申し上げます。

< 質 疑 応 答 >

【福井新聞社】

中央公園の子どもの遊び場整備事業について、これは県が各市町に全天候型の広場を整備するのを支援するという事業の活用だと思えますが、中央公園を選定した理由と、若手や子育て世代の職員を中心としたチームでの実施に込めた思いを教えてください。

【市長】

まず、若手職員に考えてもらったのは、子どもを持つ若手職員が、常日頃どういう所で遊んでいるのか、どういう遊び場があるとよいかなどの気持ちをフル活用し、案を作ってもらおうということで、そのようにしました。また、中央公園を選定した理由は、子どもの遊びの場を市内でいくつか検討しながら、プラス要因やマイナス要因がある中で、やはり中心部に近く公共交通機関があることが、大きなファクターになっていると思います。ただし、2番目3番目の候補として悪くないという他の所もあり、今後活用を検討する必要があると思います。

【福井新聞社】

全天候型の子どもの遊び場整備を、中央公園以外でも検討するということですか。

【市長】

全天候型の遊び場が1つでいいのかと考えております。ただし、いくつも整備できるわけではないので、まずは中央公園を整備し、将来的に福井市以外にも全天候型の遊び場ができると思うので、そういった所と連携し、その後状況を見ながら、福井市でも2つ目を整備するか、色々と考えながら進めていこうと思っています。

【福井新聞社】

中央公園での広場整備のスケジュールは。

【市長】

まずは、県がどのような形で認めていただけるのかにより変わってきますが、今回は実施設計を作成する予算を予定しているため、それを認めていただいて、その後、屋根付き広場を認めていただけたら、次の予算の整理が必要になると思います。

【福井新聞社】

予算や県の事業も絡むことになりましたが、今回の予算で実施設計に入るということは、来年度には着工するという事でよろしいでしょうか。

【市長】

そういうことになりましたが、県が予算をどの段階で認めてくれるのかにより変わってくると思います。

【福井新聞社】

分かりました。プロジェクトチームの規模や結成時期、どのような内容を検討するのかなどは。

【市長】

すでに結成はされています。今回ご質問にあったことなどを検討するためにチームが結成されており、色々と議論した結果、こういった方向まで整理されているところです。

【県民福井】

子供の遊び場整備についてですが、今年度の県の予算は3市町分だったと思いますが、まだ計画はできていないから申請をしていないということですか。

【市長】

まだ申請していません。

【県民福井】

予算の1500万円は見込みということですか。

【市長】

見込みです。

【県民福井】

採択されなかったらどうなるのですか。

【市長】

その部分は市で対応するか、他に財源がないかを検討することになります。

【県民福井】

1市町あたり上限1億円で、1箇所整備に1億円でよいですか。

【市長】

基本的にはそのように認識しています。

【県民福井】

採択されなかった場合も中央公園で整備しますか。

【市長】

それは他の市町の状況により判断するか、しばらく状況を見てから判断するかとか、考えることになると思います。

【県民福井】

今、中央公園は土日祝日に子供さんが多いし、遠足でも来ているような話を聞いていますが。市長としては、どのような

風に使われてほしいというのがありますか。

【市長】

遠足などではこれまでも十分に使っていただいておりますが、近年の暑さや雪、雨など、天候の状況を見ると、屋根がないと、遊び場になり得ないというのもあり、今後、色々な公園のあり方について検討していかなければならないと思っています。全ての公園に屋根付きの広場は難しいが、そういったものを整備することも一つの考え方かと思えます。そういった意味で、もし県から認められなかった場合は、市単独でやるのか、国など別の事業の補助金を活用するかなど、よく考えながらすすめていきたいと思えます。

【朝日新聞】

修学旅行のキャンセルについてですが、例えば旅行を予約し、一月や二月前の段階でキャンセルすればキャンセル料はかからないという形の契約を結ぶことは、コロナ禍においてできなのでしょう。キャンセル料は必ずかかるのでしょうか。

【市長】

通常は、前もってキャンセルすれば、キャンセル料がかかることは少ない。しかし、今回のようなコロナ禍の場合は、急激に感染拡大が起き、この状況では県外なり県内であっても行くのが難しいということからキャンセルをするケースがあります。コロナ禍での修学旅行のキャンセルは旅行に行く直前に決まることもあるため、ほとんどキャンセル料がかかるという状況下にあります。そのようなケースに対して補填をするというものです。

【朝日新聞】

およそ3,000万円計上しているが、これは実績から積算したのでしょうか

【財政部長】

実際は、修学旅行の行先を県内に変更したりして、これだけの金額はかかっていません。全体的にキャンセル料がかかる前提で予算を計上しています。8日前にキャンセルした場合を想定して予算をたてている。

【朝日新聞】

これまでに、キャンセル料補助を使ったことがあるのか

【財政部長】

昨年ありました。

【朝日新聞】

契約交渉の中で、キャンセル料を少なくするような交渉努力はできないのでしょうか

【学校教育課】

国交省の方で、旅行業の標準約款を定めていて、各旅行業者は国交省が定めた約款に基づいて契約しており、キャンセル料について修学旅行だけ特別な契約はしていません。

【朝日新聞】

契約の内容について、全国一律なのか、個別交渉はできるのか

【学校教育課】

個別の契約に関しては、各学校で対応している。学校によっては、突発的なキャンセルに対応した保険などで対応しているところもある。

【朝日新聞】

計上した金額だけを見ていると、自治体を通じて国からの新型コロナウイルス感染症に関する補助費用を旅行会社に分配しているように見えるが、そうではないのですか。

【学校教育課】

修学旅行キャンセル料補助事業の趣旨は、やむを得ず修学旅行が中止になった場合に、保護者の積立金である修学旅行費を補填するもので、保護者の負担を軽減するための事業である。決して、旅行会社のために行っているものではありません。

【福井放送】

新規 9番 学校給食材料費高騰対策事業について、一人当たり年間1,500円くらいの材料費増額の積算根拠は？

【財政部長】

新型コロナウイルスが感染拡大し始めた令和2年3月から現在までの食糧の消費者物価指数の上昇が約3%となっているので、学校給食費を約3%増額しました。

【日経新聞】

新型コロナ対策経営安定借換支援事業について、福井市の経済状況を含めて、借換融資の設立について、教えてほしい。

【財政部長】

新型コロナウイルスが感染拡大してから2年以上がたちました。当時は、新型コロナウイルスの終息が分からない中で、融資の支援制度を始めたが、想定よりもコロナ終息が長くなっており、また物価の上昇など想定外のことも起こっています。現在借換の必要な段階に入ってきたので、借換の保証料などを支援することで、借換期間の延長や融資の返済を考えてもらう機会の余裕をつくるため、支援上業に取り組んでいます。

【日経新聞】

コロナ当初の融資の返済期間が迫ってきており、今回はそれを支援するということだが、今後も定期的に支援していかなければ、返済できない事業所が多くなってくると思います。このような状況だから、今回だけ支援をするということなのか、今後も支援を定期的に続けていくのか、どのようにしていくのでしょうか

【商工振興課】

令和2年度から国、県、市で新型コロナウイルスに関する融資を行っているが、その中に使用期間が2年という融資があり、多くの企業がこれを借入しているため、今回補正予算案に計上した。

【日経新聞】

市長に伺いたいのですが、現在、市内の経済状況は上向き局面ではないと考えてよろしいですか

【市長】

経済状況は上向き局面だとは思っています。物価上昇などが起こっており、当初の想定通りに経済が動いているわけではないと感じています。現在融資設立から2年たち、以前融資を受けた企業に元のサイクルに戻ってほしいとの思いから支援事業を計上しました。

【日経新聞】

宿泊割引のキャンペーンについて、今回の狙いを教えてください。

【市長】

北陸新幹線福井開業が迫っていて、北陸新幹線沿線の県の方をターゲットに福井市の良さを知ってもらおうと宿泊の割引を行うものであり、従来の割引制度と同じ趣旨です。

【福井新聞】

学校給食費の増額について、今回給食材料費を増額したということで、今後さらに食材の価格などが上がっていった場合、再び学校の給食材料費を上げるのか、生徒保護者が支払う給食費自体も上げる可能性があるのか今後の方針をお聞きしたいです。

【市長】

まだ明確には方針を決めておりません。ただ基本形としては保護者が支払うものとなっているため、それを全く無視することはできないと考えています。今回は、コロナや物価上昇の問題など様々な要素が絡んでいるので、市が物価上昇分の給食費を支払う形をとりました。

【広報課長】

よろしいでしょうか。

では、次に進めさせていただきます。財政部長、席の移動をお願いします。

では、市長、引き続きお願いします。

【市長】

続きまして、令和3年度部局マネジメント方針の成果報告及び令和4年度部局マネジメント方針について、報告いたします。部局マネジメント方針は、年度当初に、私と各部局長が政策協議を行い、部局の重点項目や課題への対応方針、具体的な取組内容を定めるもので、年度終了後に、その達成度を評価・公表しています。評価にあたっては、達成度に応じて、成果のあったものから順に、「快晴」「晴れ」「薄曇り」「くもり」「雨」の5つに分類しております。まず3年度の結果についてですが、行動目標190のうち、達成できたものは、124項目、達成度は65.3%でした。2年度は新型コロナウイルス感染症対応のため、方針策定を見送りましたので、直近の元年度と比較しますと、達成度は3.9ポイント下回りました。達成できなかった項目については、要因をしっかりと分析したうえで、本年度以降の取組に活かしてまいります。

さて、4年度は、第八次福井市総合計画のスタートの年であります。この機会に、今年度の部局マネジメント方針では、事業内容の写真やイラストをふんだんに掲載し、説明文も簡潔にすることで、より一層、市民の皆様に分かりやすいものとなるよう、心がけました。また、私をはじめ、各部局長等の、笑顔での顔写真を掲載しておりますが、これは、これまで以上に、市民の皆様に向き合い、「誰もが笑顔で暮らせる 希望と安心のふくい」づくりに向けて、取り組む姿勢を示しております。今年度の方針では、将来都市像「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」の実現のため、新型コロナウイルス感染症対策や北陸新幹線福井開業対策、DXの推進、ゼロカーボンシティの実現などに関する施策を盛り込み、185項目の行動目標を設定いたしました。

主な内容として、まず、新型コロナウイルス感染症対策では、市民の安全安心な生活を守るため、引き続き、全庁体制で、積極的疫学調査や検査を着実に実施し、感染者の早期発見と感染拡大防止に取り組むとともに、関係機関と協力して、迅速かつ円滑なワクチン接種を推進してまいります。また、コロナ禍の影響による生活困窮者に対し、社会的・経済的自立に向け、就労準備に係る支援や相談など、きめ細かなサポートを行ってまいります。

次に、北陸新幹線福井開業対策では、県都の玄関口にふさわしい魅力と賑わいのあるまちづくりや、開業に向けた機運の醸成を図ってまいります。福井駅周辺では、民間の再開発事業への支援を行うとともに、県都にぎわい創生協議会での議論をふまえ、民間主体のまちづくりをすすめてまいります。また、首都圏等への情報発信を強力に行うことで、本市の認知度向上やイメージアップを図り、誘客や交流の促進につなげていきます。

次に、DXの推進では、市民の利便性向上を図るため、市民課窓口での各種証明書の発行手数料について、キャッシュレス決済サービスを導入いたします。また、住民基本台帳システムを改修し、転出・転入手続の時間短縮、ワンストップ化を図ってまいります。さらに、災害から市民の生命・財産を守るため、地下道や河川・水路等の状況をリアルタイムで把握し、早期の交通規制や効率的な水防活動が行えるよう、水防業務のDXに取り組みます。

次に、ゼロカーボンシティの実現に関しては、省エネ効果の高い環境配慮型の公共施設として、令和6年(2024年)春のオープンを目指し、市立図書館のニューアル工事に着手します。また、新ごみ処理施設の令和8年度稼働開始に向けて、施設整備・運営事業の実施設計を行います。

そのほか、いかなる災害が起こっても機能不全に陥らない、強靱な地域づくりを推進するため、福井市国土強靱化地域計画を改訂します。また、市民一人ひとりの豊かな住生活の実現を目指し、住宅政策を計画的・総合的に推進する、福井市住宅基本計画を改定します。さらに、空き家対策の強化を図るため、市内全域の空き家の実態を調査し、福井市空き家等対策計画(平成30年度～令和9年度)を改訂いたします。

以上、主なものについて説明いたしましたが、第八次福井市総合計画の初年度にふさわしい、幸先の良いスタートがされるよう、このマネジメント方針で定めた目標達成に向け、全ての部局が一丸となって、全力で取り組んでまいります。

なお、部局マネジメント方針は、市ホームページやケーブルテレビ「ふくチャンネル」でお知らせいたします。

< 質 疑 応 答 >

【福井新聞】

まず達成状況の65.3%は、元年度と比較し、3.9%のポイント減というわけですが、この数字についての受け止めをお願いします。

【市長】

この間の経過を見ていると、コロナ禍になる前は達成状況が69%や75%という年もありました。過去の状況と照らすと、今回の数字は決して満足できるものではないと思っています。ただコロナの関係で、地域の行事にしてもなかなか開催ができない、人に集まってもらえないというような問題がありましたので、そういうところをこれからもしっかりと手を入れ、もう少し良い数字に変えていけるように努力をしたいと思います。

【福井新聞】

今回の掲げている目標は、第八次福井市総合計画にも掲げている、新幹線が来るまちづくりに関して、残りの2年間を着実ににぎわいにつなげていくために、クリアしなければいけない必須の数字という目標なのかなと思います。改めて、にぎわい創出に向けた民間主体のまちづくりの今の到達具合が、現在あと2年という時点でどう評価されているのか、加えて、市としてはどういうことに更に力を入れていかなければいけないのかというお考えをお聞かせください。

【市長】

着実に進めていかなければならないということは間違いがありません。もう動き出している施策ですので、それを的確に進めていくことが必要だと思っています。ただ、ここ2年間のコロナの問題など、様々な状況によって、必ずしも計画通りに進まないこともあります。新幹線福井開業が1年遅れることにもなりました。問題点を整理してきっちりと対応が取れるように、実効性あるものにしていかなければならない、物事を考えていかなければならないと思っています。

【広報課長】

ほかによろしいでしょうか。

では、次に進めさせていただきます。財政部長、席の移動をお願いします。

では、市長、引き続きお願いします。

【市長】

次に、首都圏に向けたプロモーションのため、新しく制作したポスターと動画について、ご報告します。

今回、首都圏への福井市 PR のため、社会学者で作家である、古市 憲寿(ふるいち のりとし)さんを主役とした、大変魅力のあるものが完成いたしました。

まず、ポスターからですが、2種類制作しました。古市さんと新幹線プロモーション課の特命係長「福いいネ!くん」を起用し、古市さんの個性を生かしたインパクトある PR ポスターとなっております。

続いて、動画については、エピソード1から5まで5本の動画を制作しました。

今回、そのうちのエピソード1をご紹介します。エピソード2から5では、古市さんと福井市にゆかりのある著名人、福井市観光大使のバックンこと「パトリック・ハーランさん」、ソフトバンクの CM でおなじみ、一乗谷出身「白い犬のお父さん」、映画「えちてつ物語」の主演を務められた「横澤 夏子(よこさわ なつこ)さん」との掛け合いで、福井の魅力を語っていただく動画となっております。すべての動画は、本日からYouTubeで配信しますので、ぜひ皆さまにご覧いただきたいと思っております。

これらのポスターや動画を活用し、積極的に情報発信を行うことで、市の認知度向上やイメージアップを図ってまいります。私からは以上です。

< 質 疑 応 答 >

【県民福井】

ポスター何部つくりましたか。また、ポスターや動画は今後どういうふうを活用していくかを教えてください。

【市長】

北陸新幹線福井開業が2年後に迫る中、首都圏等に向けてより積極的に福井を発信したいということで作りました。動画はエピソード2から5も含め、大いに首都圏の方でアピールをしていきたいと思っています。

【県民福井】

ポスターは何部作り、どういうところ張り出すとか、YouTube はどういうふうに見てもらえるように使っていくかなど、具体的に教えてください。

【新幹線プロモーション課長】

ポスターにつきましては、首都圏の駅や、デジタルサイネージなどを活用して、今後掲示していくことを考えております。また、YouTube 配信への誘導というようなところで SNS の広告を活用して誘導していくことなどを今後行っていきたいと思っております。今回このポスター2種類つくり、それぞれ100枚ずつ製作しております。

【県民福井】

これはどういったところに ターゲットを置いて作ったものですか。

【新幹線プロモーション課長】

古市さんは年齢を問わず認知度のある方だと思っておりますので、さまざまな世代の首都圏の皆様にも、福井の事を知って頂きたいというところで製作しました。

【日経新聞】

古市さんは非常に人気の高い方ですが、一方で批判もある方というか、毀誉褒貶の激しい方だと思うのですが、あえて古市さんを起用した狙いと、期待するする効果をどのように考えていますか。

【市長】

首都圏でどのように福井を広めていけるかという中で、力を発揮していただける方を考えました。2番目以降のエピソードでは白い犬のお父さんが出たり、あるいはパクンが出たり、横澤夏子さんが出たりし、古市さんとの掛け合いの中色々と発信してもらおうという内容になっており、色々なバリエーションがあります。それらをうまく活用し、例えば大宮駅のデジタルサイネージで発信するなど、福井をアピールしていきたいと思っています。

【日経新聞】

人気のある方もたくさんいる中で、あえて古市さんを選ばれた理由というのがあれば教えてください。

【市長】

古市さんは人気もあり、社会学者というところがあり、市が今このように盛り上げたいという想いはしっかりと受け止めていただけたので、彼にお願いをしました。

【日経新聞】

できあがったポスターと動画をご覧になって、率直な感想をお願いします。

【福井市長】

古市さんは、笑いどころではない部分が面白く、気を抜いたときに追っかけて笑いがこみあげてくるので、すごい方だなと思いつつも見えています。

【日経新聞】

そういった部分がこのポスターにも表れていると思いますか。

【福井市長】

できあがりとしては、よいと思います。

【日経新聞】

先ほど少しお話がありましたが、大宮駅でのデジタルサイネージがお披露目の第一弾なのでしょうか。

【福井市長】

それが第一弾になるのではないかなと思います。

【日経新聞】

いつ頃からですか

【新幹線プロモーション課長】

6月6日からの予定です。

【日経新聞】

今後新幹線開業まで、ずっとこのポスターでアピールしていくという認識でよろしいですか。

【新幹線プロモーション課長】

このポスターだけでなく新たなポスターの制作も検討しています。

【日経新聞】

古市さんをメインキャラクターとしてやっていくというのは、新幹線開業まで変わらないということによいですか。

【新幹線プロモーション課長】

新幹線開業までずっとというわけではないですが、今年度につきましては、古市さんをメインキャラクターとして、その後については検討していきたいと思っています。

【福井市長】

状況を見ながら、今後については検討していきます。

【日経新聞】

わかりました。ありがとうございます。

【FBC】

今回、動画を見ると古市さん以外にも、パクンや白い犬のお父さんや横澤夏子さんも出演されていますが、あくまでメインキャラクターは古市さんということによろしいですか

【福井市長】

今回は少なくとも、古市さんがメインキャラクターとして、他の方々との掛け合いで福井市をPRしていこうということです。

【FBC】

古市さんをメインキャラクターとして起用したことにあたって、福井市の〇〇大使というように、そういった肩書をつけるのでしょうか。

【福井市長】

特にそういった肩書はつけていません。

【FBC】

今後いくつかポスターを制作していくというのは、古市さん以外の出演者のポスターを制作するという事なんでしょうか。それとも、今回のものとは全く関係ないものを制作していくということなのでしょうか。

【新幹線プロモーション課長】

今後検討していきます。

【FBC】

ありがとうございます。

【福井テレビ】

質問が重なるのですが、古市さんを起用した理由、狙いを改めてお願いいたします。

【福井市長】

古市さんは社会学者であり、作家でもあるということで活動の幅が非常に広い方です。テレビを見てもいろんな方との掛け合いがしっかり行われているなど感じていました。今後、動画に登場した人物意外にも、いろいろな人と掛け合いをしていく可能性があると考えたときに、幅広い方とうまく掛け合いができると思い、様々な候補の中から古市さんを起用することに決定しました。

【福井テレビ】

どちらかというと、古市さんは若い世代に人気があるかなと思うのですが、首都圏の駅などで流すにあたって、この世代にアピールしたい、興味を持ってもらいたいと思っていますか。

【福井市長】

いろいろな方に来てほしいですが、一乗谷朝倉氏遺跡に県の博物館ができることを考えると、歴史好きの方にも来てほしいです。また、新幹線福井開業の際には、あまり来る機会がなかった若い方に来てもらいたいと思っていますので、若い方にポスターや動画を見ていただいて、若い方に来ていただきたいです。

【福井テレビ】

ありがとうございます。

【読売新聞】

3点お伺いしたいことがあります。パクンさんは福井にゆかりのある方だと思うのですが、その他の出演者も福井にゆかりのある方なのかでしょうか。

【福井市長】

パクンは福井に友達がおおり、東京で活動しているときから福井によく来ていただいていたので、福井市の観光大使大使に任命した経緯があります。ソフトバンクのCMは福井で制作されていた時期があり、白い犬のお父さんが一乗谷の遺跡の中を走っているというCMや一乗谷に積もった雪と同化したような映像も撮影しています。

【読売新聞】

このポスター・動画制作に予算はどのくらいかかっているのでしょうか。

【新幹線プロモーション課長】

このポスター・動画制作のみでの予算の内訳を示すことはできないのですが、令和3年度の予算と令和4年度の予算で制作をしており、令和3年度の全体予算2953万、令和4年度で3370万、このなかには、動画・ポスター以外にもノベルティ制作などいろいろな事業が含まれています。

【ヤスノさん？】

白い犬のカイクンはソフトバンクのCMの設定では、一乗谷で生まれ、高校までは福井で育ち、その後パリのソルボンヌ大学に留学し、犬になって帰ってきたということになっています。そういった意味で、福井市出身であるという位置づけになっております。

【広報課長】

他に質問がないようですので、これにて市長記者会見を終了いたします。誠にありがとうございました。